

とよしん 景況調査

NO.134

2024年1月発行

- 景況アンケート調査
(2023年10月～12月期実績 2024年1月～3月期見通し)
- 特別調査
- スポットライト ～がんばる地元企業～
(掲載企業：株式会社 プライズメント)







































豊橋信用金庫

《第134回景況アンケート調査》

総括判断

『当地区の景況は、一部業種に弱さがみられるものの、緩やかに改善している。』

とよしん景況天気図(業況DI)

	2022年 10~12月	2023年 1~3月	4~6月	7~9月	当期実績 10~12月	来期見通し 2024年 1~3月
全業種総合	 ▲2.4	 ▲1.9	 4.3	 3.5	 7.4	 4.1
製造業	 ▲4.5	 ▲7.9	 1.4	 ▲1.5	 9.3	 2.1
卸売業	 ▲2.7	 1.4	 0.0	 0.0	 1.7	 ▲3.3
小売業	 ▲1.7	 ▲6.3	 6.3	 0.0	 6.3	 9.4
サービス業	 ▲3.1	 2.7	 5.7	 5.5	 13.5	 4.1
建設業	 ▲1.9	 0.0	 7.4	 6.4	 6.4	 3.6

《天気図の見方(DI)》



《調査要領》

調査期間

2023年11月1日(水)～11月30日(木)

調査対象時期

2023年10月～12月期実績

2024年1月～3月期見通し

調査方法

当金庫職員による聞き取りアンケート調査

調査対象企業

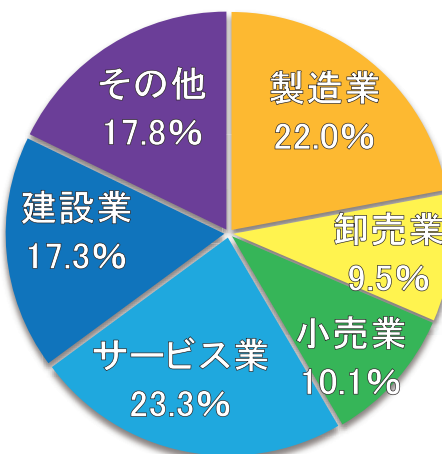
当金庫お取引先企業 635社

分析方法

DI(ディフュージョン・インデックス)を中心とした分析

※DIとは、各調査項目で「増加(上昇・良い)」と回答した企業割合から、「減少(下降・悪い)」と回答した企業割合を差し引いた値を指数化したものをいいます。

調査対象企業(635社)の内訳



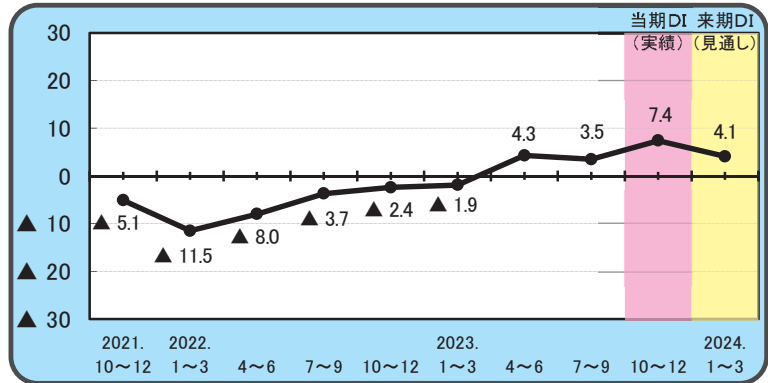
全業種総合

～業況・売上・収益すべて改善～

業況

【当期(10～12月)DIの実績】
7.4 (前期比+3.9ポイント)

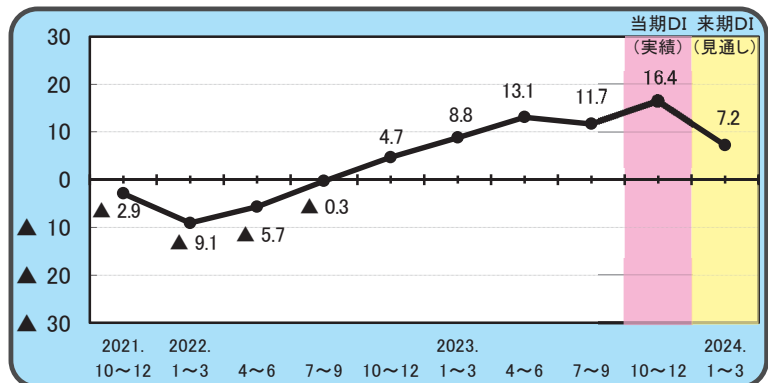
【来期(1～3月)DIの見通し】
4.1 (当期比▲3.3ポイント)



売上

【当期(10～12月)DIの実績】
16.4 (前期比+4.7ポイント)

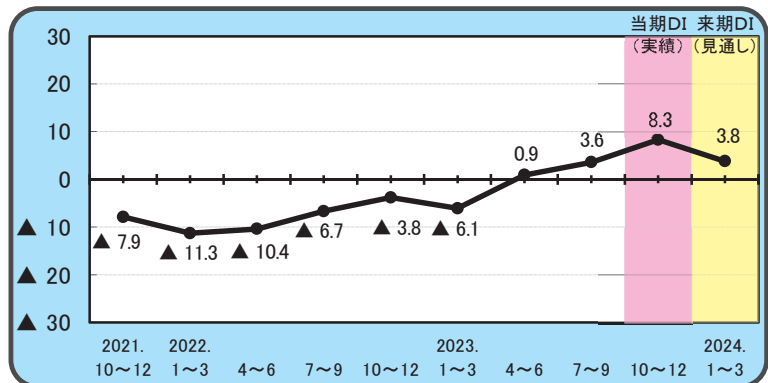
【来期(1～3月)DIの見通し】
7.2 (当期比▲9.2ポイント)



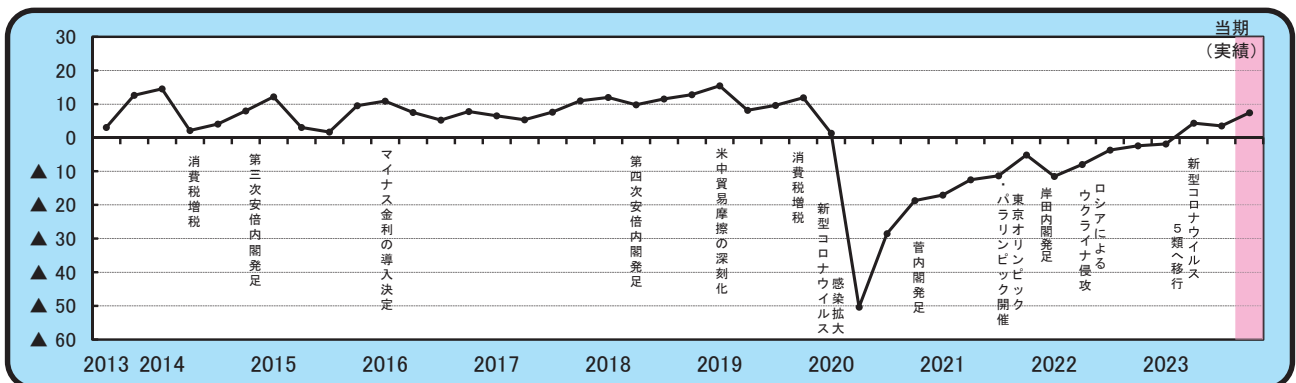
収益

【当期(10～12月)DIの実績】
8.3 (前期比+4.7ポイント)

【来期(1～3月)DIの見通し】
3.8 (当期比▲4.5ポイント)



過去10年間の業況DI推移



製造業

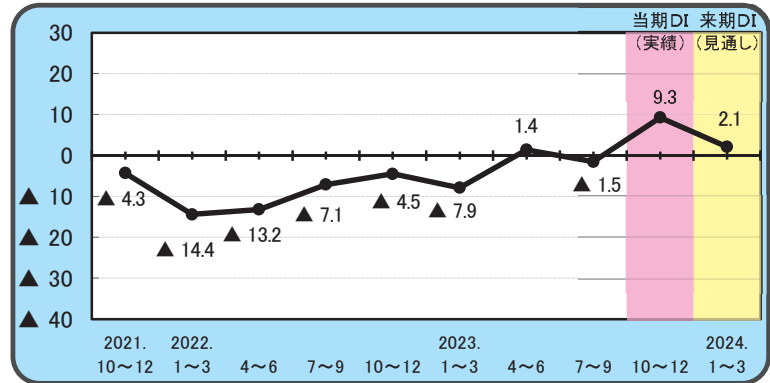
～業況・売上・収益すべて改善～

当期業況DI (実績) 2023年10～12月	来期業況DI (見通し) 2024年1～3月
☁️ 9.3	☁️ 2.1

業況

【当期(10～12月)DIの実績】
9.3(前期比+10.8ポイント)

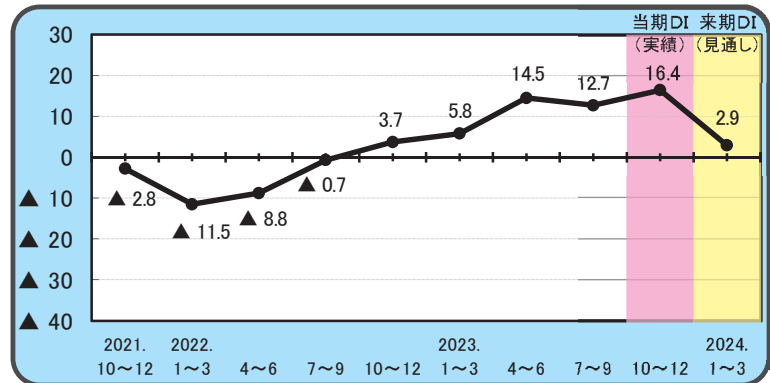
【来期(1～3月)DIの見通し】
2.1(当期比▲7.2ポイント)



売上

【当期(10～12月)DIの実績】
16.4(前期比+3.7ポイント)

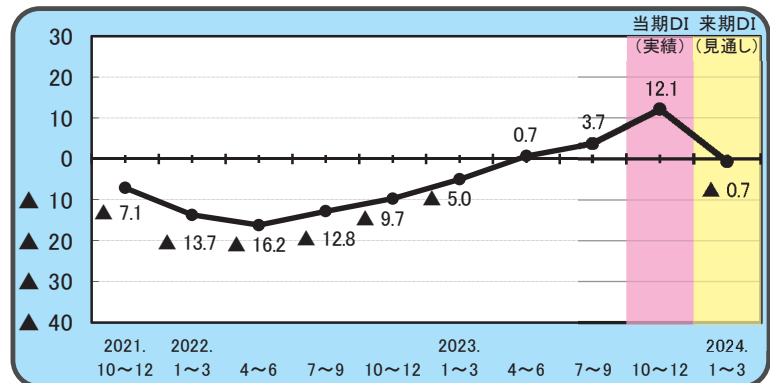
【来期(1～3月)DIの見通し】
2.9(当期比▲13.5ポイント)



収益

【当期(10～12月)DIの実績】
12.1(前期比+8.4ポイント)

【来期(1～3月)DIの見通し】
▲0.7(当期比▲12.8ポイント)



- ・電気機器関連では、原材料価格の高騰、円安基調、人件費引き上げにより、販管費、製造原価は高水準で推移。ある程度の価格転嫁は進んでいるが、販管費増加分を補填するほど進んでおらず、今後の業況や収益性の悪化を懸念する先もみられる。
- ・自動車関連は、半導体や部品不足による生産調整が続いている。水道光熱費等の各種販管費負担も増加していることから、収益面は低水準で推移するとみられる。
- ・菓子製造関連は、インバウンド需要により観光地からの受注が引続き堅調で、売上はコロナ前の水準まで回復傾向にあるが、原材料等高騰が恒常化しており、価格転嫁が進まなければ収益面は依然厳しい状況にある。

卸売業

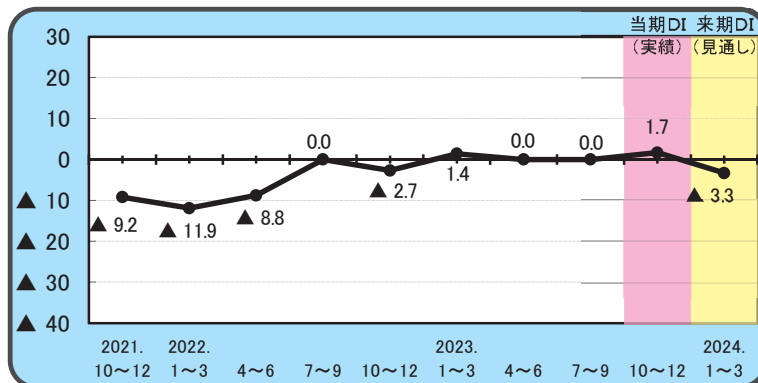
～業況・売上・収益すべて改善～

当期業況DI (実績) 2023年10～12月	来期業況DI (見通し) 2024年1～3月
☁️ 1.7	☁️ ▲3.3

業況

【当期(10～12月)DIの実績】
1.7 (前期比+1.7ポイント)

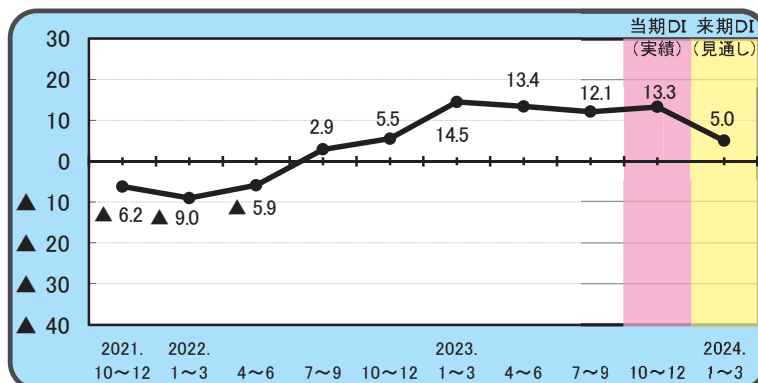
【来期(1～3月)DIの見通し】
▲3.3 (当期比▲5.0ポイント)



売上

【当期(10～12月)DIの実績】
13.3 (前期比+1.2ポイント)

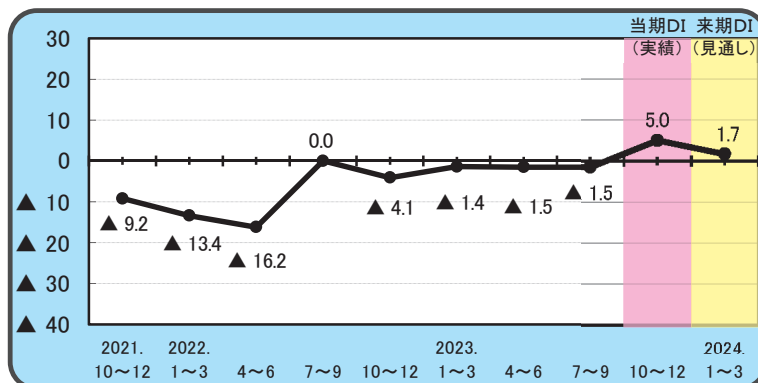
【来期(1～3月)DIの見通し】
5.0 (当期比▲8.3ポイント)



収益

【当期(10～12月)DIの実績】
5.0 (前期比+6.5ポイント)

【来期(1～3月)DIの見通し】
1.7 (当期比▲3.3ポイント)



- ・卸売業全体としては、現状は売上の回復傾向がみられるものの、依然として経費増加による採算の悪化や値上げによる需要の後退、人材不足・採用難など懸念材料もあることから、業況DIの来期見通しは厳しい結果となっている。
- ・木材関連は、国産材価格の上昇傾向が続いており、住宅などの建設需要の急激な回復も見込まれないことから、まだ厳しい業況が続くと思われる。
- ・建築材料・内装資材関連は昨年来値上げが続き、価格転嫁が必要な状況が継続している。
- ・青果関連は、今後も輸送コストの高止まりが続くものと思われるが、外食産業を中心とした需要回復がみられ、販売価格の上昇に伴い利益率の改善が見込まれる。

小売業

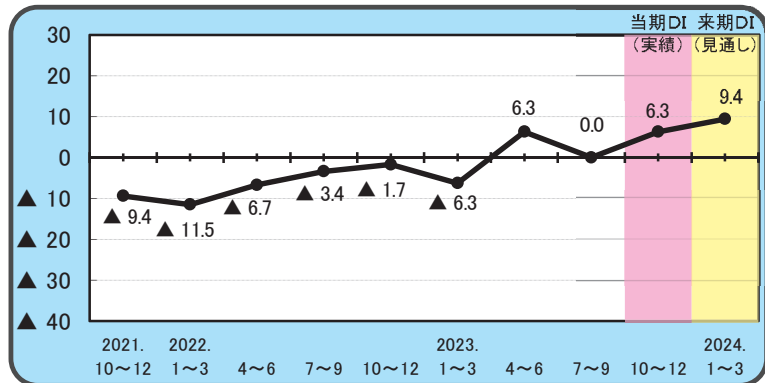
～業況・売上・収益すべて改善～

当期業況DI (実績) 2023年10～12月	来期業況DI (見通し) 2024年1～3月
☁️ 6.3	☁️ 9.4

業況

【当期(10～12月)DIの実績】
6.3 (前期比+6.3ポイント)

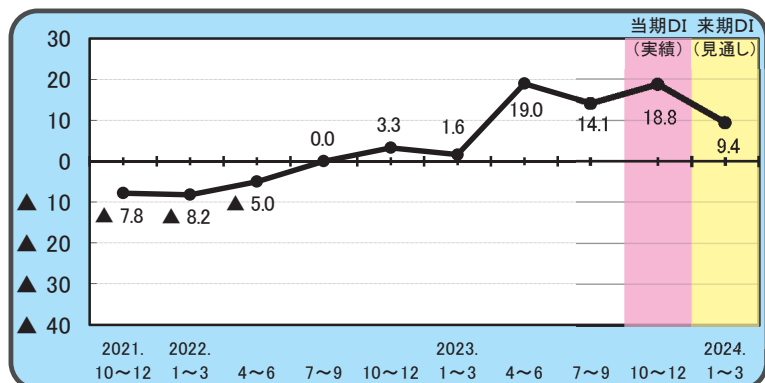
【来期(1～3月)DIの見通し】
9.4 (当期比+3.1ポイント)



売上

【当期(10～12月)DIの実績】
18.8 (前期比+4.7ポイント)

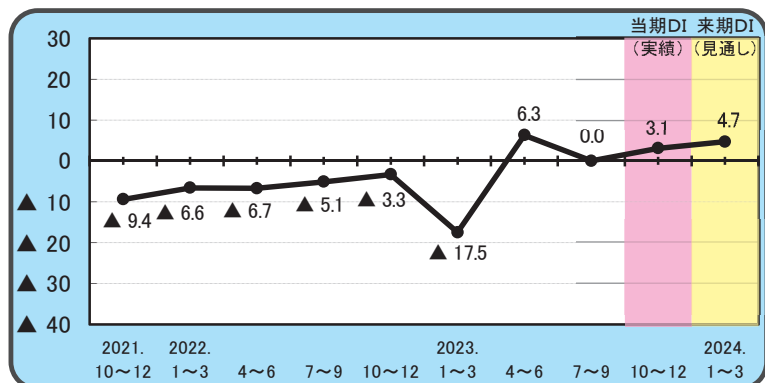
【来期(1～3月)DIの見通し】
9.4 (当期比▲9.4ポイント)



収益

【当期(10～12月)DIの実績】
3.1 (前期比+3.1ポイント)



【来期(1～3月)DIの見通し】
4.7 (当期比+1.6ポイント)



- ・コロナ感染症が5類に移行し来店客は増加傾向にある。世間の平均賃金も増加傾向あることから、年末商戦等での売上増加が期待されている中、インフラ、食料品、日用品の値上げが続き、引続き消費マインドは低下しているが、経費削減などにより収益確保を図っている。
- ・自動車の新車販売台数は、前年度の販売台数が低調に推移したことや、各社の挽回生産により増加している。中古車販売では、一時の供給不足が影響したこと、在庫は増加しているものの成約率は維持されている。また、ロシア向けへの中古車輸出規制による輸出の落ち込みが懸念されたが、想定ほどの影響はみられていない。

サービス業

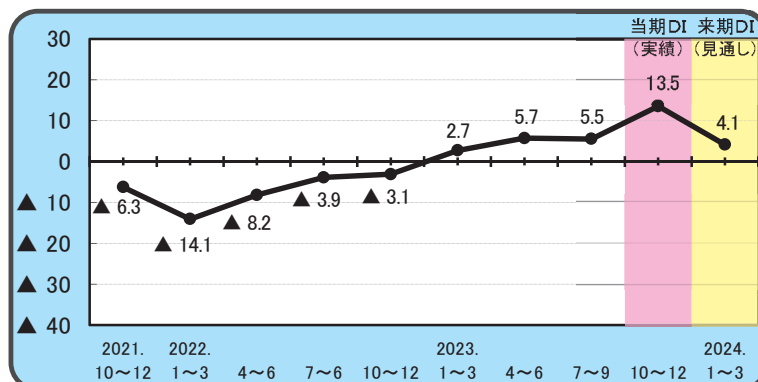
～業況・売上・収益すべて改善～

当期業況DI (実績) 2023年10～12月	来期業況DI (見通し) 2024年1～3月
 13.5	 4.1

業況

【当期(10～12月)DIの実績】
13.5 (前期比+8.0ポイント)

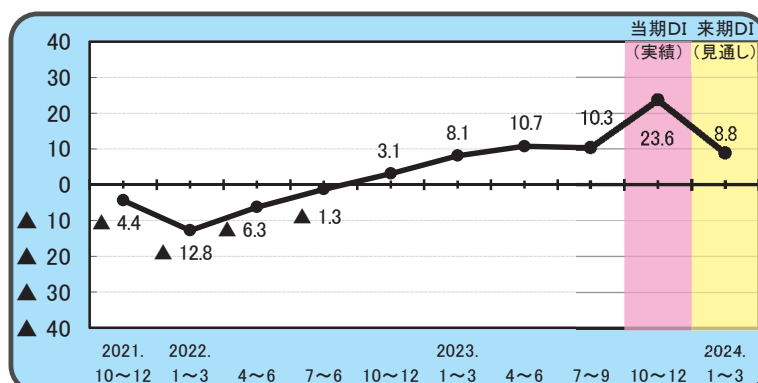
【来期(1～3月)DIの見通し】
4.1 (当期比▲9.4ポイント)



売上

【当期(10～12月)DIの実績】
23.6 (前期比+13.3ポイント)

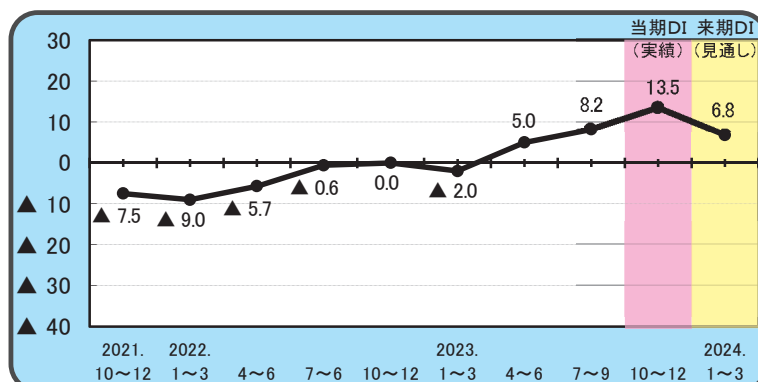
【来期(1～3月)DIの見通し】
8.8 (当期比▲14.8ポイント)



収益

【当期(10～12月)DIの実績】
13.5 (前期比+5.3ポイント)

【来期(1～3月)DIの見通し】
6.8 (当期比▲6.7ポイント)



- ・外出自粛意識の弱まりや年末にかけての人流増加などから、当期の業況DIは上昇している。業種別では、娯楽業は客足が戻ってきているが、飲食業はテイクアウト・配達を始めたり、価格転嫁により回復している先もあれば、年末の売上が期待以上に見込めない先もある。また、旅行業・宿泊業では、帰省や観光地滞在による利用者の増加を見込んでいるが、長期滞在は期待できず、売上に大幅な変化はないとの声も聞かれるなど、サービス業の中でも各業態によってばらつきがみられる。
- ・医療・保健衛生業では、医療材料、機器等の値上げが続いているが、医療費が公定価格のため価格転嫁ができないことから、今後の診療報酬改定内容が収益に影響すると思われる。

建設業

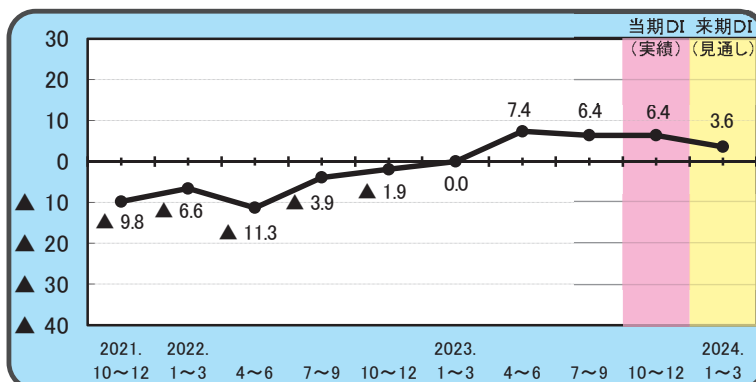
～業況・売上・収益すべて改善～

当期業況DI (実績) 2023年10～12月	来期業況DI (見通し) 2024年1～3月
☁️ 6.4	☁️ 3.6

業況

【当期(10～12月)DIの実績】
6.4 (前期比±0.0ポイント)

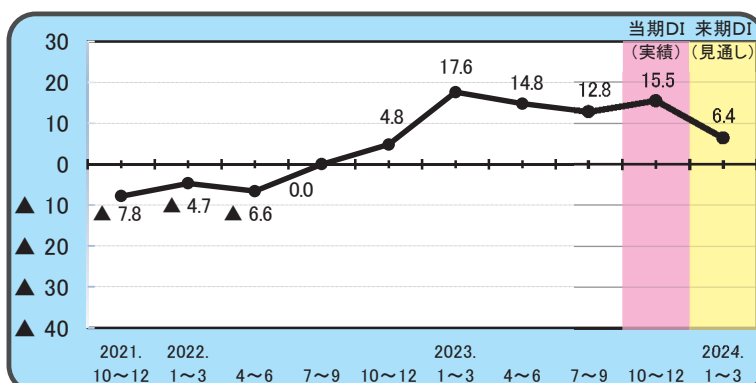
【来期(1～3月)DIの見通し】
3.6 (当期比▲2.8ポイント)



売上

【当期(10～12月)DIの実績】
15.5 (前期比+2.7ポイント)

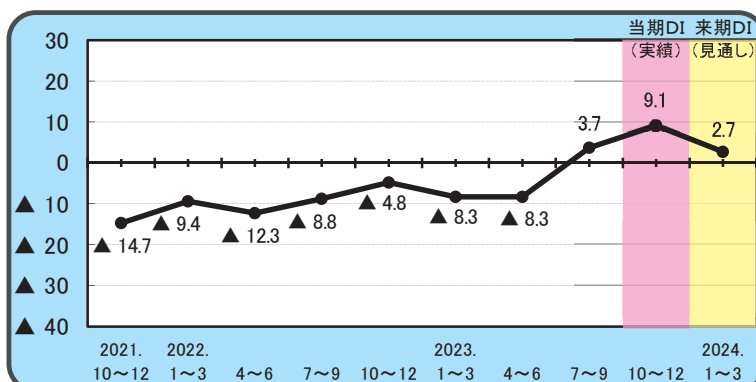
【来期(1～3月)DIの見通し】
6.4 (当期比▲9.1ポイント)



収益

【当期(10～12月)DIの実績】
9.1 (前期比+5.4ポイント)

【来期(1～3月)DIの見通し】
2.7 (当期比▲6.4ポイント)



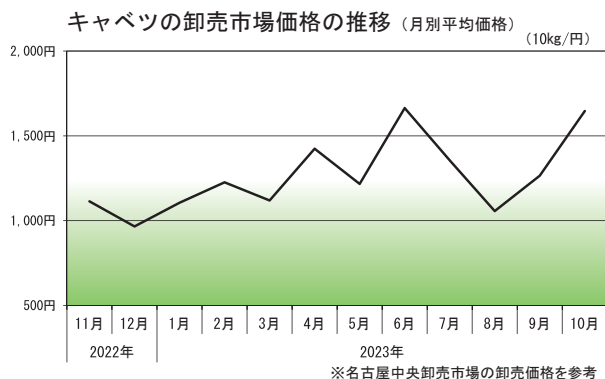
- ・円安や物価高で資材、燃料費の高止まりが続いている。コスト上昇分すべてを工事価格に転嫁することは難しく、収益の大幅な回復には至っていない事業者が多いとみられる。
- ・コロナ収束による受注回復は期待されるが、慢性的な人手不足が課題。若手労働者の確保や労働環境のマイナスイメージ払拭を目的とした良い雇用条件の提示、設備投資による環境整備を進めようとしても、余力がある事業者は少なく、人手不足解消の目途は立っていない模様。
- ・公共工事については、引続き資材、燃料費の上昇により利益率が減少しているため、原価管理を徹底していく必要がある。

その他

- ・農業（キャベツ・輪菊）
- ・水産業（養鰻）・運輸業・不動産業

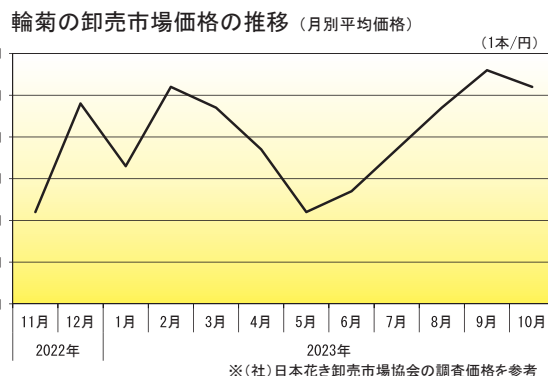
農業（キャベツ）

猛暑の影響により、10月の価格相場は高く推移。11月は下落したが、過去5年平均に比べ高くなっている。輸送コストの高止まりがみられるものの、外食産業を中心とした需要回復により、卸売業者の収益性改善も見込まれる。



農業（輪菊）

例年、12月の需要増加や3月のお彼岸により単価が上昇する時期であるが、原油高のため収益への影響が懸念される。輪菊が葬祭で需要が低迷している点と、スプレー菊がイベントによる需要が見込まれることを理由に、品種を変更する農家もみられている。



水産業（養鰻）

シラスウナギの高値が続いているが、2024年の漁獲量も芳しくない可能性があり、引続き高値での推移が懸念される。暖房費の増加や円安等による飼料価格高騰の長期化により、収益力は依然低く、引続きコスト上昇分の価格転嫁が課題となっている。

運輸業

コロナ禍で増加した小口配送需要のほか、経済活動再開に伴う需要回復により、業界全体の受注量は維持されているが、燃料費や人件費高騰分の価格転嫁が進まず、収益を圧迫。引続きドライバー不足が課題であり、労働環境改善やDXを活用した業務効率化等も必要。

不動産業

豊橋市は、人気エリアを除き不動産価格が低下傾向にあるが、建築コスト上昇により購入を躊躇する傾向が増えている。豊川市は、郊外の需要が増加傾向であり、また、人口増加に伴い宅地の需要が伸びている一方、就農人口の減少などから耕作放棄地は増加している。

《特別調査》最低賃金引き上げにかかる影響等について

10月からの最低賃金引き上げによる影響についてアンケート調査を実施いたしました。

《調査要領》

調査期間

2023年11月1日(水)～11月30日(木)

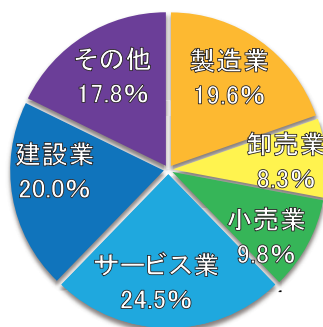
調査方法

当金庫職員による聞き取りアンケート調査

調査対象企業

当金庫お取引先企業 1,216社

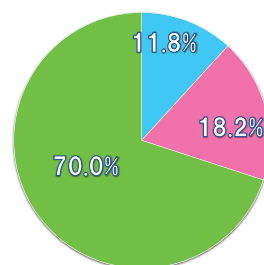
調査対象企業(1,216社)の内訳



●問1. 貴社の最低賃金引き上げにかかる対応状況についてお答えください。

全業種総合では、「最低賃金を下回ったため、賃金を引き上げた」が11.8%、「最低賃金にかかわらず、賃金を引き上げた、または引き上げる予定」が18.2%となっており、3割の事業者の方が賃金を引き上げた、または賃金の引き上げを予定している。

<全業種総合>

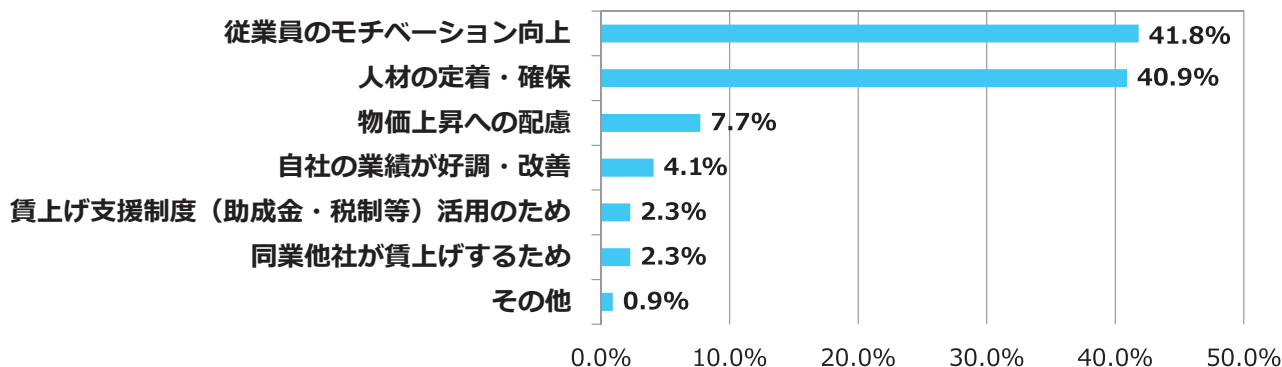


- 最低賃金を下回ったため、賃金を引き上げた
- 最低賃金にかかわらず、賃金を引き上げた、または引き上げる予定
- 最低賃金を下回っておらず、賃金を引き上げる予定はない

●問2. 問1で「最低賃金にかかわらず、賃金を引き上げた、または引き上げる予定」と回答された方で、賃金を引き上げた、または引き上げる理由として最も当てはまるものをお答えください。

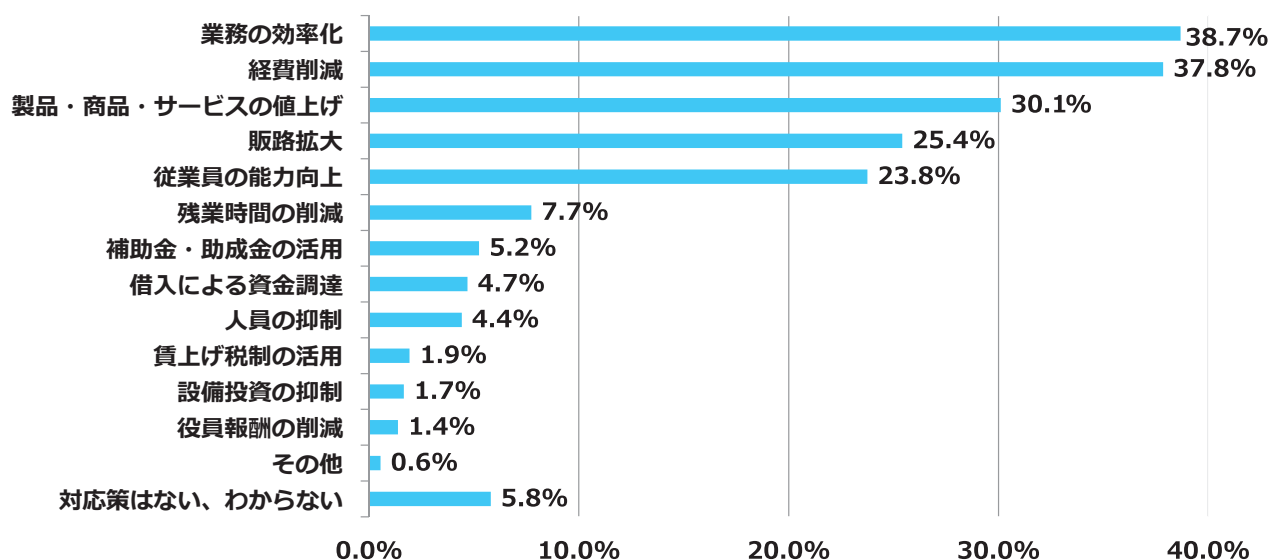
全業種総合で回答割合が高い項目は、「従業員のモチベーション向上」が41.8%、「人材の定着・確保」が40.9%となっている。

なお、全業種において「従業員のモチベーション向上」の回答が4割超となっている。



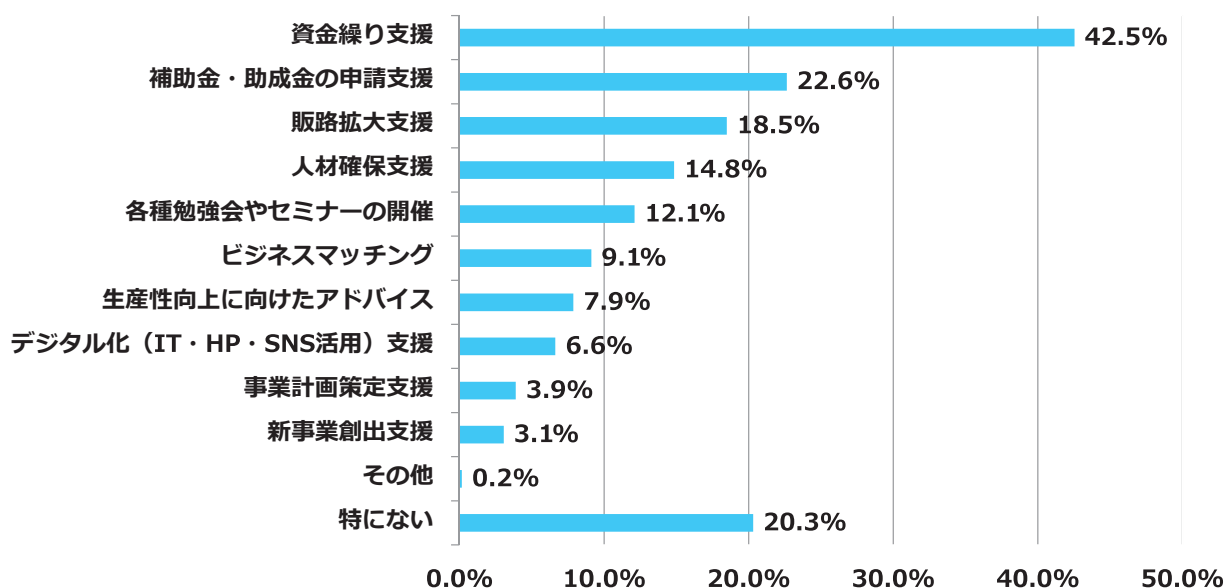
●問3. 問1で「最低賃金を下回ったため、賃金を引き上げた」または「最低賃金にかかわらず、賃金を引き上げた、または引き上げる予定」と回答された方で、賃金引き上げに対する施策（実施予定を含む）は何ですか。（複数回答・最大3つまで）

回答割合が高い項目は、「業務の効率化」38.7%、「経費削減」37.8%、「製品・商品・サービスの値上げ」30.1%、「販路拡大」25.4%などとなっている。



●問4. 最低賃金引き上げに伴い、金融機関等から受けたい支援等がありますか。（複数回答・最大3つまで）

回答割合が高い項目は、「資金繰り支援」42.5%、「補助金・助成金の申請支援」22.6%、「販路拡大支援」18.5%、「人材確保支援」14.8%などとなっている。



スポットライト ～がんばる地元企業～



クリエイティブの力で地域課題を解決する会社
株式会社 **プライズメント**

所在地：豊橋市向山町字水車 18 番地 6
事業：地域情報誌発行、デザイン制作 等
代表者：高井龍雄
設立：2003 年 4 月
従業員：33 名
TEL：0532-65-3016



はなまるだからこそ提案できる「世界に一つだけのウェディング、がある。」

発行数東三河地域No.1のタウン情報誌「HANAMARU PLUS」を発行する株式会社プライズメント（代表取締役 高井龍雄）の進化が止まらない——。令和5年7月に開設した「はなまるブライダルデスク」では、創業以来20年以上をかけて培ってきた地域の事業者と連携し、「新郎新婦が実現したいコト」に焦点を当てた「世界に一つだけのウェディング、を提案している。

発行数、情報量ともに東三河地域ナンバーワン 地元民に愛される「HANAMARU PLUS」を発行する会社

株式会社プライズメント（以下、「はなまる」という）は、平成15年に豊橋市関屋町で創業し、フリーペーパー「笑顔発見!!」情報マガジンはなまるからスタートした。いまでこそ「はなまる」は当たり前の日常となっているが、創業当時はフリーペーパーというビジネスモデルは革新的であったため、1軒1軒説明して歩いて回り、徐々に掲載数を増やしていった。

創刊から20年経過した現在では「HANAMARU PLUS」の発行数は毎月15万部に達し、「この地域で、はなまるを知らない人はいない」と言われるまでに成長した。



「はなまる」でお馴染みのフリーペーパーは、主婦の必携アイテム

企画、交渉、取材、デザイン、編集すべてを自社で。 フリーペーパー制作から、クリエイティブ集団に。

実は、はなまるでは情報誌の制作を印刷以外全ての工程を自社スタッフが担っている。毎月企画会議を行い、テーマに合わせて取材、デザイン、広告出稿、編集までを行うため、スタッフは納期と品質の両立を求められる。こうして制作される「はなまる」はタウン情報誌だけでなく、地方限定版「スポットとHANAMARU」、住宅マガジン「MY HOME PLUS」、ウェディング情報誌

「hana hana」、宴会情報誌「Do!ENKA」と地域に住む人たちの声に合わせて展開されてきた。また、「Web版はなまる」の運営を開始するなど、時代とともに媒体や事業領域を拡大させ、ホームページ制作、WEB広告デザイン、LINEスタンプやキャラクター制作など「クリエイティブ集団」へと変貌を遂げてきた。

コロナで見えた、はなまるが果たすべき役割とは エール事業をきっかけに地域課題を解決する存在へ。

2020年コロナによる外出自粛の影響が出始めた中、これまでフリーペーパーを支えてくれた事業者を応援できないかと想い、豊橋市および地元プロバスケットチームと協力して飲食店のテイクアウト情報が集まるポータルサイト「東三河食べ支えプロジェクト@豊橋」を開設した。このプロジェクトは、多くの反響を呼び、コロナ禍での地域経済活性化に貢献することとなった。

こうしたエール事業をきっかけに、はなまるでは地域課題に着目した事業にシフトし、AIを活用した需要予測システム開発や豊橋市のキャッシュレス事業「TOYOpay（とよっぺい）」の開発・運営も受託している。はなまるがこれまで培ってきたデザイン力を活かし、UX/UIにも力を入れることで、使いやすさを重視し、地域住民の利便性向上を目指している。



結婚式の相次ぐ中止に式場スタッフからも嘆きの声 スタッフが参加したある結婚式で新たな事業の着想

コロナの影響は、はなまるに掲載している取引先にも大きな影響を与えていた。特に、結婚式場とはウェディング専門情報誌「hana hana」を発行していた関係性もあり、相次ぐ結婚式の中止を嘆く声をとでも多く聞いていた。中には人生の節目とコロナが重なったことで「二度に亘る延期の末に中止になった」など、楽しみにしていた結婚式を苦渋の決断で諦めるケースもあった。そんなコロナ禍真っ最中にスタッフが参加したある結婚式で、新たな事業の着想を得ることになる。その結婚式では、新郎新婦が「結婚式をできる方法」を考えた結果、屋外レストランにケータリング（軽食）を用意し、行きつけの美容師に髪型をセットしてもらい、レンタルドレスを持込むなど結婚式を手作りしていた。そこには「世界のどこにもない完全オリジナルなウェディング」があり、幸せに溢れる新郎新婦の姿と二人を祝福する参列者の笑顔があった。

創業20年以上培ってきた地域事業者との信頼と実績 「はなまる」だからこそ実現できるウェディングの形

多くの結婚式場からも「はなまるさんの力でなんとかこの地域で結婚式が挙げられる環境を作ってほしい」という声が上がっていたこともあり、ウェディングプランナーとも相談し、「はなまるブライダルデスク」を構想した。それは「新郎新婦の実現したいコト」に焦点を当て、理想の結婚式場を紹介するだけでなく、お気に入りのレストランの料理、いつも食べてるあのケーキ屋さん、こだわりを実現してくれる花屋さん、気心の知れた美容師さんなどを、はなまるが繋ぐことで実現できる新たなウェディングの形である。これまでウェディング業界ではドレス持込みなどの制約も多かったが、創業より20年以上に亘り、5,000者を越える地域事業者がはなまるに掲載してきた信頼と実績があるからこそ実現できる事業である。この事業計画を実現するため、豊橋信用金庫にも相談しながら遂に令和5年7月に「はなまるブライダルデスク」を開設した。



コンセプトは「ふたりの始まりと未来を繋ぐ」 新郎新婦と作る「世界に一つだけのウェディング」

「はなまるブライダルデスク」は、挙式を創り上げていくプロセス自体を楽しんでもらえるような仕掛けが幾つもある。通常、新郎新婦は結婚式場を決めてからウェディングプランナーと相談する 경우가ほとんどだが、「はなまるブライダルデスク」ではウェディングプランナーが窓口となることで「新郎新婦が想う理想の結婚式」を聞き出していく。また、デジタルサイネージに映し出された映像を基にイメージを擦り合わせ、理想に合わせた式場や中身の提案を行っていくため、理想と現実のギャップが少なくなり新郎新婦・結婚式場双方にとってメリットとなる。新郎新婦が心から満足できる「世界に一つだけのウェディング」を生み出していく。



「婚姻数減少」という地域課題を解決する一翼に。 この地域に目を向け、クリエイティブの力で解決。

少子高齢化の時代にコロナ禍が拍車をかけている。コロナ禍で「日本国内の婚姻数は約11万組も減少した」とされており、この東三河地域も例外ではない。このまま婚姻数が減少し続ければ、出生数も減少し、やがて将来の地域経済に重くのしかかってくる。国や地方自治体では、婚姻数の増加という地域課題を解決するためには、結婚を望む若年層を後押しすることが重要だと考えており、出会いの場創出に加え、結婚へのハードルを下げるのが求められている。「はなまるブライダルデスク」では、それぞれが想う理想の結婚式を提供することで、結婚への憧れを持つ新郎新婦が増えることを願っている。

地域初のフリーペーパー制作から時を経て、地域課題を解決する存在になっているはなまるは、これからもこの地域に目を向け、クリエイティブの力で課題を解決していく。

【豊橋信用金庫 中央支店・事業支援部】

Toyohashi Thinking



LINE 公式アカウント

とよしのキャンペーン情報や地域の情報など
おトクな情報をお届け！
抽選でクーポンをプレゼント！



@toyoshin

地域に届ける、経営の知的情報。

とよしん 経営サポート



Facebook

補助金や経営お役立ち情報など経営支援に関する
情報をお届け中！



Instagram

経営支援活動の様子や
地域の面白い中小企業などを紹介！



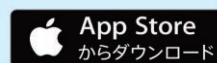
通帳は“紙”から“アプリ”へ

しんきん通帳アプリ

いつでもどこでも
入出金明細や残高をスマホで確認！



Google Play
で手に入れよう



App Store
からダウンロード

＼みんなにエール！／

豊橋信用金庫